

ETロボットコンテスト2006 モデル審査基準

2006/4/19 Ver 1.0

モデル外観	表現の正しさ	使用するモデリング言語(UML等)の表記法やダイアグラムの仕様の正しさのような文法的側面を審査します。 文法的側面のみをチェックします。 「UMLでクラスが丸」、「独自記法が含まれる」などの誤記は減点になります。
	見やすさ	モデルの見やすさを審査します。 たとえば、 * 視点(機能、静的構造、動的構造、アルゴリズムなど)ごとに図が分かっているか * 図のレイアウトが見やすいか * モデルの補足文書(コンセプトシートでのモデル説明)が分かりやすいかなどです。
	オリジナリティ	モデルやコンセプトシートに対して施された、モデルの理解性を上げるための独自の工夫に対して審査します。
モデル内容	モデルの妥当性	モデル表記法が依拠している開発手法(UMLであればオブジェクト指向、等)の観点から見たときの、各モデル要素の妥当性を審査します。 たとえば、 * 問題領域の分離はうまくなされているか * 責務分割は妥当か * 関連や多重度は適切か * 必要な抽象化がなされているか * 状態の定義は適切か * 機能の実現方法が検証できるかなどです。
	予測性能	モデルの妥当性とは別に、モデルから読みとれる予測性能に限定した審査をおこないます。 たとえば、 * アルゴリズムや制御戦略は効果的か * アルゴリズムや制御戦略は実現可能かなどです。
	オリジナリティ	アルゴリズムや制御戦略のユニークさを審査します。 また、要求を満たす以上の補足機能がある場合には、審査において加点されます。 たとえば、 * センサーの動的なキャリブレーション機能 * ライン離脱時の復帰アルゴリズム などが該当します。